

仕様書

1 業務名

広島市こども・若者アンケート調査業務

2 目的

広島市の施策に関するこども・若者等の意見や状況、ニーズ等を把握し、調査結果の施策への反映を進めるため、アンケートの実施、集計、報告書作成等を行う。

3 業務の概要

(1) アンケート実施時期

令和8年6月下旬頃発送、7月下旬頃回収

(2) 調査対象者

ア 広島市全域の小学生（1～3年生）の者	：約1,000件
イ 広島市全域の小学生（4～6年生）の者	：約1,000件
ウ 広島市全域の中学生	：約1,000件
エ 広島市全域の15歳以上18歳未満の者（以下「高校生年代」という。）	：約1,000件
オ 広島市全域の18歳以上22歳未満の者	：約2,000件
カ 広島市全域の22歳以上30歳未満の者	：約2,000件
キ ア～エの保護者	：約4,000件
ク 未就学児の保護者	：約1,000件

計 約13,000件

※ 対象者は、令和8年4月1日時点の年齢に基づき、発注者が住民基本台帳より無作為抽出する。

(3) 目標標本数

2,860件（22%）以上 ※

※ （ ）内は、昨年度実績を踏まえて設定した回収率

(4) 調査方法

郵送配布、インターネット回答方式

(5) 調査項目

ア 属性

区分	小学生（1～3年生）、小学生（4～6年生）、中学生、高校生、大学生・専門学校生等、会社員等、自営業、公務員、パート・アルバイト等、無職
年齢	※自身の年齢を選択（入力）
居住区	中区、東区、南区、西区、安佐南区、安佐北区、安芸区、佐伯区
性別	男、女、その他・答えたくない
同居家族の人数 （自分を含む）	1人（自分だけ）、2人、3人、4人、5人、6人以上 【18歳以上の年齢を回答した者のみ】
同居家族の構成	一人暮らし、夫婦のみ、あなた（又はあなた夫婦）と親、あなた（又はあなた夫婦）と子、あなたを含めて三世代、その他 【18歳以上の年齢を回答した者のみ】
婚姻関係	既婚、未婚、離婚・死別 【18歳以上の年齢を回答した者のみ】

保護者用子ども区分	未就学児、小学生（1～3年生）、小学生（4～6年生）、中学生、高校生、社会人等 【保護者用の回答フォーム（下記4(1)「回答フォームの作成」参照）から回答する者のみ】
-----------	--

イ 設問（上記ア「属性」に関するもの以外）

設問は全て選択肢式とし、設問総数は40題程度とする。

なお、設問によっては、調査対象者が選択する属性区分や年齢により、回答を求める対象者を限定しているものがある。

(6) スケジュール

5月下旬	契約締結
6月下旬	アンケート調査案内はがき発送（回答期間3週間）
7～8月	回答集計、集計結果分析データの作成
8月7日	集計結果（速報値）報告
11月27日	成果品（集計結果報告書等）の納品

4 業務の内容

(1) 回答フォームの作成

「小学生用の回答フォーム（小学生向けに設問内容を平易な文章表現としたもの）」、「中学生以上の者（保護者は除く）用の回答フォーム」及び「保護者用の回答フォーム」の3つの回答フォームを作成すること。なお、各回答フォームへのアクセスは、1つのQRコードを入り口として設けるものとし、当該QRコードから回答者が自身の対象者区分を選択することで、対応する回答フォームに遷移できる仕組みとすること。

設問文は、発注者が作成し、提供するが、受託者は、以下の観点に基づき、回答フォームの構成設計、画面遷移、表示方法等について、実績等に基づいた専門的な知見による提案及び修正を行うものとする。

ア 小学生用回答フォームの作成に当たっては、以下のすべての要件を満たすこと。

- ・ 画面構成に関する要件
 - 一画面当たりの設問数は、小学生の集中力や理解度を考慮し、過度に多くなならないよう配慮すること。
 - スクロール量が過度に長くなならないよう設計し、設問内容が視覚的に把握しやすい構成とすること。
- ・ 表現・デザインに関する要件
 - 設問文及び選択肢の文言は、小学生が直感的に理解できる表現となるよう配慮すること。
 - ボタン配置、文字サイズ、色使い等については、小学生が迷うことなく操作できるものとする。
 - 専門用語や抽象的な表現については、必要に応じて補足説明（例示、ひらがな表記、言い換え等）を付すこと。
- ・ 操作性及び回答負担軽減に関する要件
 - 誤操作を防ぐため、選択状態が分かりやすく表示される仕様とすること。
 - 回答に要する操作回数が過度に多くなならないよう配慮すること。

イ 全ての回答フォームは、以下のすべての要件を満たすこと。

- ・ 回答者の属性（年齢区分、立場等）に応じて、回答不要な設問を自動的に非表示とする分岐機能を有すること。
- ・ 設問への回答内容に応じて、後続の設問内容又は、選択肢が自動的に変化する条件分岐を設定できること。
- ・ 回答途中で中断した場合に備え、入力途中の内容を自動的に保存できる機能を有することに加えて、異なる日時であっても、保存時点から回答を再開できること。
- ・ 必須回答項目については、未回答のまま送信しようとした場合に、当該設問位置が視覚的に

分かる形で注意喚起を行うこと。

- ・ 同一設問内で論理的に不整合な回答が生じた場合には、回答者に再確認を促す仕組みを設けること。
- ・ 発注者からの指摘事項については、軽微な修正に限らず、本調査の趣旨及び対象者の特性を踏まえた修正を行うこと。

(2) アンケート調査案内はがきの作成（校正2回以上）

ア 調査の目的、調査対象者（小学生から高校生及びその保護者、並びに30歳未満の者）の特性、及び回答率の向上を図る観点を踏まえ、アンケート調査案内はがきを作成すること。作成にあたっては、色弱者に配慮した配色やユニバーサルデザインフォントを用いることに加えて、単なる体裁・レイアウト作業にとどまらず、回答行動を促すための構成、表現、視認性及び導線について、受託者自らの知見に基づく提案を行うこと。

案内はがきの作成に当たっては、少なくとも以下の観点を考慮し、具体的な工夫内容を受託者から提案すること。なお、標本の抽出及び送付データ（名前、住所等）の作成については、発注者が行い、エクセル形式で提供する。

(ア) 調査趣旨の伝達に関する工夫

- ・ 調査の目的及び意義が、短時間で直感的に理解できる構成となっていること。
- ・ 回答することが、市政や今後の施策検討にどのようなつながるのかが、対象者に伝わる表現となっていること。

(イ) 心理的ハードルを下げるための工夫

- ・ 回答時間の目安や、スマートフォンで簡単に回答できる旨など、回答負担が大きくないことが伝わる表現となっていること。
- ・ 「答えにくい調査ではない」「安心して答えられる」という印象を与える配慮がなされていること。

(ウ) 視認性・誘導性に関する工夫

- ・ QRコードは、スマートフォンで容易に読み取れるよう、大きさ、配置、周囲の余白等に配慮すること。
- ・ QRコード付近に、誘導的表現を設けるなど、回答行動につながりやすい構成とすること。

イ 案内はがきに記載する内容や作成する種類及び部数については、以下のとおりとする。

(ア) アンケート調査案内はがきに記載する内容

送付先、調査概要の説明、ID番号（※1）、上記(1)で作成した回答フォームにアクセスするためのURL及びQRコード等

(イ) 作成種類

アンケート調査案内はがきの作成種類（宛名以外のデザインパターン）は次のとおり（4パターン）である。（※2）

	調査対象者の区分	回答フォームのQRコード	ID番号
①	小学生（ア・イ）とその保護者（キ）	記載する	記載する
②	中学生・高校生年代（ウ・エ）とその保護者（キ）	記載する	記載する
③	18歳以上30歳未満（オ・カ）	記載する	記載しない
④	未就学児の保護者（ク）	記載する	記載しない

※1 調査対象者のア～エの区分に該当する者（小学生から高校生年代の子ども）とその保護者について、両者の回答の相関性を分析するため、上記表①②のアンケート調査案内はがきには、一意のID番号を印刷すること（ID番号については、親子の回答を紐づけるためのものであって、個人を特定するためのものではない旨の注意書きを併記すること。）。

※2 調査対象者のア～エの区分に該当する者（小学生から高校生年代の子ども）に送付するアンケート調査案内はがき（上記表①②のはがき）は、調査対象となる子どもの氏名とその保護者宛とする（保護者用の案内はがきは作成しない。）。

(ウ) 作成部数

- ・小学生（1～3年生）の者用 : V折圧着はがき（上記表①） 1,000部
- ・小学生（4～6年生）の者用 : V折圧着はがき（上記表①） 1,000部
- ・中学生用 : V折圧着はがき（上記表②） 1,000部
- ・高校生年代用 : V折圧着はがき（上記表②） 1,000部
- ・18歳以上22歳未満の者用 : V折圧着はがき（上記表③） 2,000部
- ・22歳以上30歳未満の者用 : V折圧着はがき（上記表③） 2,000部
- ・未就学児の保護者の者用 : V折圧着はがき（上記表④） 1,000部

(3) 調査案内はがきの発送

上記(2)で作成した 9,000 部を発送する。（配達業者は指定しない。）送付に係る費用は受注者が負担する。

(4) データクリーニング及び単純集計（Excel 形式）

回答結果について、データクリーニングを実施の上、全ての設問について単純集計を行い、グラフ化を行う。

(5) 属性クロス集計（Excel 形式）

単純集計の結果に基づき、全ての設問について次の区分ごとのクロス集計を行い、グラフ化を行う。

区分	説明
子ども	「小学生（1～3年生）」、「小学生（4～6年生）」、「中学生」、「高校生」のいずれかを選択した者
小学生（1～3年生）	「小学生（1～3年生）」を選択した者
小学生（4～6年生）	「小学生（4～6年生）」を選択した者
中学生	「中学生」を選択した者
高校生	「高校生」を選択した者
大学生等	「大学生・専門学校生等」を選択した者
社会人	「会社員等」、「自営業」、「公務員」、「パート・アルバイト等」、「無職」のいずれかを選択した者
保護者	保護者用の回答フォームから回答した者

※ 属性クロス集計の対象となる設問数については次のとおりである。

	調査対象者の区分				
	子ども	小学生 (1～3年生)	小学生 (4～6年生)	中学生	高校生
設問数	32題程度	6題程度	6題程度	9題程度	11題程度
	調査対象者の区分				
	大学生等	社会人	子どもの保護者	未就学児の保護者	計
設問数	15題程度	15題程度	11題程度	27題程度	100題程度

(6) その他の集計

上記(5)のほか、本市のこども・子育て支援施策の検討に有意と思われる集計方法を発注者に提案すること。また、提案の結果、発注者が採用した場合は、その集計を行い、グラフ化を行う。

(7) 集計結果（速報値）の報告（Excel形式）【期限：令和8年8月7日（金）】

上記(4)で作成したデータ（グラフ化を除く。）を取りまとめの上、速報値として発注者に提出すること。

(8) 報告書の作成【期限：令和8年11月27日（金）】

ア 報告書の作業に入る前に、上記(4)・(5)・(6)で作成した表やグラフ化した集計結果、これらに対する分析コメント（調査結果の傾向や特徴などに関するコメント）を取りまとめた上で発注者に提出すること。

イ 上記アの内容について、発注者の了承を得た後、報告書にまとめること。その際、ユニバーサルデザインフォントを使用し、表現の統一に留意すること。（固有名詞や、「である調」など）

なお、報告書の作成に当たっては、発注者が提供する「令和7年度 広島市こども・若者アンケート調査報告書」を参考に、同等のものとなるよう、発注者と協議を行った上で作成すること。

5 業務の成果品（※ すべてのデータはCD-Rに入れて納品する。）

- (1) 上記4(4)で作成した単純集計結果、上記4(5)で作成したクロス集計結果及び上記4(6)で作成したその他の集計結果
- (2) 上記4(8)で作成した報告書の版下原稿及び電子ファイル（表やグラフ等の収録データの加工・複製等が可能なデータ形式のものを含めること）

6 業務の履行期間

契約締結の日から令和8年12月15日（火）まで

7 特記事項

- (1) 受注者は、業務の実施に当たり、発注者と打ち合わせを行うなど、緊密に連絡を取りながら業務を実施するものとする。また、疑義が生じた場合は速やかに発注者と協議を行い、その指示を受けなければならない。
- (2) アンケート調査案内はがきの印刷、発送にかかる費用はすべて受注者が負担すること。
- (3) 受注者は、業務上知り得た情報を他人に知らせ、又は目的以外に使用しないこと。この業務が終了した後においても同様とする。
- (4) インターネット回答により収集したデータは、受注者が管理するサーバーに保存するものとする。また、受注者は、当該サーバーについて、適切な情報セキュリティ対策を講じたうえで管理を行わなければならない。
- (5) 外字を氏名に含む対象者に対してアンケート調査案内はがきを送付する可能性があることから、外字管理機能を有し、外字を含む氏名の取扱いが可能であること。
- (6) 成果品については、全て発注者の所有に属するものとし、発注者の承認を得ずに他に公表、貸与、使用、廃棄等をしてはならない。
- (7) この仕様書に疑義のあるとき、又は定めのない事項については、発注者及び受注者で協議して定める。